

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 10 月 8 日 作成

事務事業名		中九州地域高規格道路推進期成会参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	都市建設部	課長名	上原哲也
	施策	5	道路ネットワークの充実			所属課	建設課	担当者名	辻 健一
	基本事業	13	計画的な道路の整備			所属班	管理計画班	(内線)	2272
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始		成果優先度評価結果 12 コスト削減優先度評価結果 6
		1	8	1	1	10069			
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)									
【事業の内容】 大分熊本間の中九州地域は、豊かな農林資源や観光資源に恵まれていながら、地域発展に必要な社会資本の整備が遅れているため事業の促進を図るため期成会を設立し、要望活動を実施。 【業務の流れ】 幹事会、総会への出席。国、県、県選出国議員への陳情。 【主な予算費目】 負担金補助及び交付金として負担している。									

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 幹事会、総会への出席。国県に対し要望活動を行った。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度と同じ。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 熊本市から大分市を結ぶ地域高規格道路	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 幹事会への出席 回 イ 総会への出席 回 ⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 整備延長 km イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 計画路線の調査区間から整備区間への格上げと早期完成を求める。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 国県への要望回数 回 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 土地利用に合った道路網が整備される	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 整備済延長/計画延長×100 % イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ～ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 0 0 0 0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	95	95	95	95	95	95		
	(A) 事業費計	千円	95	95	95	95	95	95		
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費									
正規職員従事人数	人	3	18	2	5	5	5			
延べ業務時間	時間	30	150	8	156	100	100			
(B)人件費計	千円	119	597	32	621	398	398			
トータルコスト(A)+(B)	千円	214	692	127	716	493	493			
活動指標	ア 回 イ 回		1	1	1	1	1			
対象指標	ア km イ		1	1	1	1	1			
成果指標	ア 回 イ		1	1	1	1	1			
上位成果指標	ア % イ	15	23	45	28.9	70	100	22 年度		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
大分市から熊本市を結ぶ中九州地域は、豊かな農林資源や観光資源に恵まれているが、地域発展に必要な社会資本の整備が遅れていることから、大分県と熊本県側合同及び両県それぞれの期成会を平成5年2月に設立。阿蘇市他11市町加入。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
大分県側大飼千歳道路4.3kmが平成18年度。千歳大野道路8.7kmが平成19年度に供用開始。阿蘇大津道路5.3kmが水文調査、平成12年12月から大津町熊本市間が調査区間指定を受けている。
しかし、公共事業の削減により、整備時期が不透明となっている。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
熊本市側からの同時着工の推進する上で企業の役割が重要になっている。

事務事業名	中九州地域高規格道路推進期成会参画事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	---------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 車社会の急速な進展により、道路の高規格化が望まれているが、公共事業の削減により整備時期が不透明となっている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 大分市・熊本市を結ぶこの高規格道路の整備により、九州縦貫自動車道、東九州自動車道との一体性が確立し、中九州地域の相対的發展につながる。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 採択路線の早期着工、調査区間の計画路線採択に努め、全線開通を目指す。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 現在調査区間の大津町～熊本市間を九州縦貫自動車道北熊本SAへ誘導することにより、新市建設計画で謳われ、現在熊本市・植木町と共同で勉強会を行っているスマートICの整備も含めて物流、観光拠点としての地域の発展が見込まれる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 完成まで期成会活動は必要。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 他に類似団体がない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 期成会の一員として会費負担割合が定められており適当である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 年に1～2回の会合であり、必要最小限度で進めており、適切である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 都市間を結ぶ地域高規格道路整備の要望であり、安心・安全・快適性・迅速性の確保を図るもので公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																	
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上																	
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	(直結度高い 1～3 直結度中 4～6 直結度低い 7～9)
(2) 貢献度	(貢献度高い 1～3 貢献度中 4～9 貢献度低い 10～12)